

一枚ずつお取りください！

A T M通信

平成16年11月10日号

A T M鎌ヶ谷発 NO. 13

発行：A T M鎌ヶ谷事務局

“歩いて楽しいみちづくり”

A T M鎌ヶ谷



～東武鎌ヶ谷駅西口地区の生活道路～

次回のワークショップは11月20日に開催します！

11回目は、11月20日(土)午後7時から

グループ形式等により、東武鎌ヶ谷駅西口地区の将来的なみちづくりに関する議論を行います。



【これまでの経緯・今後の方向性】

7月までのワークショップにおいて、グループ討議や現地踏査等を行いながら、地区内の道路に関する問題点を整理してきました。これに加えて、9月には2回の講演会、7月と10月にはコミュニティ道路等の先進地視察を実施し、みちづくりに関する基本的な知識や意欲が高まっている

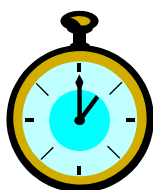
方も多いと思います。

今後は、いよいよ問題点を解消していくためにはどのようなことが必要なのか、「くらしのみち」「歩いて楽しいみち」とはどのようなみちなのかといったテーマを中心に話し合いを行い、東武鎌ヶ谷駅西口地区のみちづくりに関する基本的な考え方を具体的にまとめていきます。

開催場所： 道野辺中央コミュニティセンター

当日はどなたでも自由にご参加いただけますが、資料を準備する都合から、参加される場合は、事前に事務局までご連絡いただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

交通量調査を実施しました



10月26日(火)の午前7時から午後7時まで、ペアロードにおいて、車・自転車・歩行者等の交通量調査を実施しました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

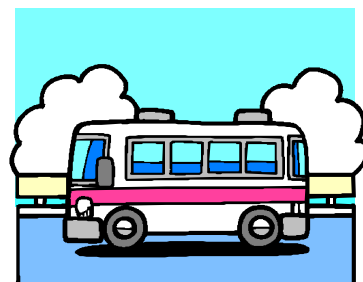
現在、事務局にて集計や分析等の作業を行っているところです。調査結果につきましては、次回のワークショップやA T M鎌ヶ谷のホームページ(鎌ヶ谷市のホームページ内)で公表し、今後のみちづくりの資料として反映させてまいります。



第2回先進地視察へ出かけました

10月13日(水) 第10回目のワークショップとして今年2回目の先進地視察を実施し、人や自転車優先のみちづくりに関する先進事例を見てきました。

今回は“商店街のみちづくり”を中心テーマとして、東武鎌ヶ谷駅西口と類似している商店街通り2地区を視察しました。類似点は以下のとおりです。



外周道路を整備することにより、その中にある商店街の細いみちへ、できるだけ車が入らないようにした。

道路の幅が、鎌ヶ谷駅西口のペアロード(約6~6.5m)と同じくらいの広さである。

(さいたま市浦和区の商店街通り:約5~6m 江戸川区平井の商店街通り:約7.5~8m)

また、行程の最後に、くらしのみちゾーンの施策の1つでもある「無電柱化(電線類の地中化)」のシステムも視察しましたが、普段なかなか見ることのできない路面下(道路の表面よりも下)の埋設物(展示)を見て、こちらに興味を示された方も多かったようです。

【先進地視察(10月13日実施)】

視察場所： 埼玉県さいたま市浦和区(JR浦和駅周辺地区)：商店街通り他
東京都江戸川区平井 (JR平井駅周辺地区)：商店街通り他
東京都江東区東陽： 無電柱化(電線類の地中化)システム



浦和区・商店街通り



江戸川区平井・商店街通り



無電柱化システム視察

(連絡先)『歩いて楽しいみちづくり鎌ヶ谷』(略称：ATM鎌ヶ谷)
事務局：鎌ヶ谷市役所 都市部 都市整備課 市街地整備係
電話： 047-445-1141 内線455

ATM鎌ヶ谷のホームページは、鎌ヶ谷市のホームページから

<http://www.city.kamagaya.chiba.jp>